

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 成人期死亡川崎病既往症例における心血管後遺病変の病理学的解析 』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 病理診断科 職位・氏名 教授・高橋 啓

### 【研究の目的】

小児期に川崎病に罹患された後に成人期(18歳以上)に亡くなられた方の心血管病変に対して臨床病理学的検討を行い、川崎病冠動脈炎後遺病変の長期変化を明らかにすることを目的として、東京都監察医務院、自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門との共同研究を計画しました。

研究成果は、川崎病冠動脈炎後遺症を残しつつ生活する成人例の心血管イベント発生リスクを明らかにし、その発生を予防するための新規治療法開発に寄与することが期待されます。

### 【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

**研究対象者:**1985年1月から2020年12月の間に東邦大学医療センター大橋病院病理診断科、および東京都監察医務院に保管されている成人剖検症例の中で、(1)川崎病の既往歴を有する、または(2)剖検時に冠動脈瘤が確認された方で、約30例が対象となります。

**方法:**心臓の冠動脈組織標本に対して、動脈狭窄・閉塞、粥状動脈硬化症の程度などについて顕微鏡を用いた検討を加えます。さらに、東京都監察医務院で剖検された研究対象者については、「生年月日、イニシャル、性別」を自治医科大学が保管する川崎病全国調査データと照合し、合致するデータが存在した場合には患者さんの急性期の心血管合併症、治療の情報が集められます。そして、急性期の冠動脈病変の臨床情報と、成人期の川崎病冠動脈炎後遺症の病理所見とが比較検討され、両者の関連について考察がなされます。

川崎病全国調査は、1970年から現在に至るまで行われている疫学調査で、自治医科大学倫理委員会の承認を得て実施されています。本調査では患者イニシャル、性別、生年月日、急性期治療や心血管合併症の有無とその概要が調査項目になっています。

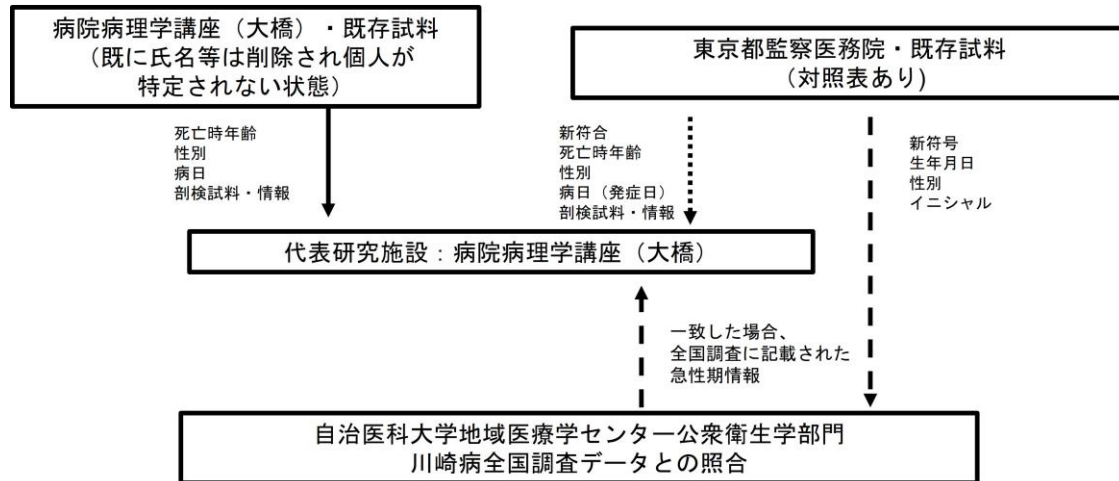
### 【研究に用いられる試料・情報】

研究に用いられる試料・情報は、東邦大学医療センター大橋病院および東京都監察医務院で保管されている組織標本、保存組織、剖検記録です。

さらに、東京都監察医務院における剖検試料・情報のなかで、「イニシャル、性別、生年月日」が川崎病全国調査データと照合するために東京都監察医務院から自治医科大学に送付され、合致したデータが存在した場合には急性期の心血管合併症、治療情報が大橋病院病理診断科に送られ研究に用いられます。

## 【試料・情報の提供】

東京都監察医務院から提供される剖検試料・情報は、監察医務院で対照表を用いて、個人を特定できないように氏名などを削除し、別の符号を付加した個人情報化がなされた後に新たな符号がつけられ、個人が判らない状態で大橋病院病理診断科に運ばれ病理組織学的検討がなされます。対照表は監察医務院で厳重に管理されます。一方、自治医科大学から提供を受ける川崎病全国調査データからの急性期の川崎病情報も新たな符号の基で管理され、大橋病院病理診断科には個人が特定されない状況で送付されます。



研究に用いられる試料・情報の流れ

## 【研究組織】

代表施設名： 東邦大学医療センター大橋病院病理診断科

研究代表医師： 高橋 啓 役職： 教授

共同研究施設名・研究者： 自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学部門 中村好一 教授  
東京都監察医務院 林 紀乃 院長

## 【個人情報について】

研究に利用する情報は、個人を特定できる個人情報を削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。本研究に関して研究対象となっている方のご家族で質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

## 【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院 病理診断科

職位・氏名 教授・高橋 啓

電話 03-3468-1251 内線 7609